

秋田市国際化マスタープラン

プランについて詳しくは企画調整課国際交流担当まで☎(866)2033

八月に開催されたワールドゲームズ秋田大会は、私たちにとって、世界をまたひとつ身近に感じる大きな機会になりました。十月末には秋田〜ソウル間の定期国際航空便の就航も予定されています。

そんななか、市ではこのほど、これからの国際化施策の指針となる「秋田市国際化マスタープラン」をまとめました。人々の交流や情報のやりとりにおいて世界が小さく感じられるようになってきた今、秋田市の国際化施策を展開し、地球規模での平和や繁栄への貢献をめざし、だれもが住みよい都市づくりを進めていこうというものです。

第1章 国際化の基本理念

世界に広がるパートナーシップづくり

- ・ 市民主体の都市間交流による友好親善と相互理解の促進
- ・ 世界に向けて発信できる地域アイデンティティの確立
- ・ 都市間協力による地球規模での共通課題に対する取り組み
- ・ 国際的視野に立った地球市民としての意識の醸成
- ・ 経済のグローバル化に対応する環境整備

世界に開かれた地域社会づくり

- ・ 国際化にふさわしい魅力と活力ある都市づくり
- ・ 外国人住民に親しみやすく安全で快適な都市づくり
- ・ 外国人住民の地域社会参加への拡充
- ・ 言葉や慣習などの違いに配慮した支援

世界平和と繁栄に貢献する都市づくり

- ・ 国際親善活動などを通じた世界の恒久平和に向けた活動の推進
- ・ 平和意識の啓発と平和活動への協力・支援

第2章 国際交流施策

姉妹都市などとの交流事業の現況と課題・対応について

秋田市は、中国・蘭州市と友好都市提携（昭和五十七年）、ドイツ・パッサウ市、ロシア・ウラジオストク市と姉妹都市提携（それぞれ昭和五十九年、平成四年）、アメリカ合衆国・キナイ半島郡と交流合意（都市提携平成四年）を結んで、交流を進めています。

このような都市間交流は、お互いの市民同士が友好親善と相互理解を深め、国際社会の平和と繁栄を築こうと行っているものです。

市ではこれまで各都市と、相互訪問による友好交流や青少年、教育、文化、スポーツなど広い分野での交流を行ってきました。交流提携後、蘭州市には延べ九百六十一人、パッサウ市には七百五十三人の秋田市民が訪問し、草の根交流の輪が広がっています。

しかし、交流事業の一部については、提携直後は各分野の市民が強い興味を示すものの、時間の経過とともに交流数が減ってくる傾向にあります。



公共サインの外国語表示も進めていきます

第3章 地域国際化施策

地域に住む外国人への支援や市民の国際意識の醸成について

秋田市における外国人登録者数は、平成十二年末で千二十七人。十年前の平成二年の五百五十五人に比べると、約二倍に増えています。入国目的は留学や興行が多数を占めます。これは、かつてに比べ個人の海外旅行が珍しくなくなっていることとあり、単に海外というだけでは興味を維持することが難しいからだと考えます。今後、都市間交流をより発展させていくためには、相互の市民が関心の高い共通のテーマを軸とした新しい交流のあり方を考えることや、市民交流の裾野を広げる工夫をしていく必要があります。

地域に住む外国人への支援や市民の国際意識の醸成について

秋田市における外国人登録者数は、平成十二年末で千二十七人。十年前の平成二年の五百五十五人に比べると、約二倍に増えています。入国目的は留学や興行が多数を占めます。